

科目名	リハビリテーション医学 2							年度	2026
英語科目名	Rehabilitation Medicine 2							学期	後期
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	照井裕子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		作業療法士		
<b>【科目の目的】</b> リハビリテーションの目的は「その人らしい人生、その人らしい生活を最大限回復させること」である。超高齢化社会が進むにつれて、様々な機能低下、慢性疾患や運動器疾患を有する人が増え、リハビリテーションの占める割合は増加している。さらに介護現場においても、在宅医療の重要性が増している。このような背景のもとで、鍼灸師も広い意味でのリハビリテーションに関わる機会が多くなってきている。 本科目では、各疾患におけるリハビリテーションについて学習することを目的とする。									
<b>【科目の概要】</b> リハビリテーションは医学的・教育的・職業的・社会的な分野に分かれている。本科目では、特に医学的リハビリテーションを中心に学習する。単に、疾病に対する治療法を学ぶのではない。リハビリテーションの理念や全体の流れを理解した上で、それらを把握していくことが重要である。 リハビリテーション医学2では、前期（リハビリテーション医学1）で学修したリハビリテーションの基礎知識をもとに、各疾患におけるリハビリテーションの実際について講義形式で授業を行う。またリハビリテーション医学1および2のまとめとして、国家試験対策も行う。									
<b>【到達目標】</b> A. 各疾患のリハビリテーションの実際（疾患概要、障害像、アプローチ）について理解できる B. 国家試験対策問題（リハビリテーション医学）において、6割程度正答できる									
<b>【授業の注意点】</b> ・授業日数の4分の3以上出席しない者は、定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできないが出席の扱いはしない。また明確な理由のない早退は、出席とは認めない場合がある。 ・各單元ごとに確認テストを実施する。講義の理解度を上げるためにも、授業前にテキストの該当範囲をよく読んで予習することを強く推奨する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A (75%)	(90%以上) 到達目標をはるかに上回る結果である	(80%～89%) 到達目標を十分に上回る結果である	(70%～79%) 到達目標を標準的に達成している	(60%～69%) 到達目標には届いているが努力を要する	(60%未満) 到達目標に届かず相当の努力を要する				
到達目標 B (25%)	(90%以上) 到達目標をはるかに上回る結果である	(80%～89%) 到達目標を十分に上回る結果である	(70%～79%) 到達目標を標準的に達成している	(60%～69%) 到達目標には届いているが努力を要する	(60%未満) 到達目標に届かず相当の努力を要する				
<b>【教科書】</b> 学校協会指定教科書 リハビリテーション医学（医歯薬出版）									
<b>【参考資料】</b> 毎回プリントを配布する									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 期末試験（筆記試験）									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		リハビリテーション医学2			年度	2026
英語表記		Rehabilitation Medicine 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	脳卒中のリハビリテーション	脳卒中のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 疾患の概要	脳卒中の分類について説明できる	1	
			2 障害像	障害像について理解できる		
			3 急性期のリハビリテーション	急性期リハの目的とその内容について理解できる		
2	脳卒中のリハビリテーション	脳卒中のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 回復期のリハビリテーション	回復期リハの目的とその内容について理解できる	1	
			2 維持期のリハビリテーション	維持期リハの目的とその内容について理解できる		
			3 脳卒中リハのゴール	社会復帰の可能性について予測を立てられる		
3	脊髄損傷のリハビリテーション	脊髄損傷のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 疾患の概要	脊髄損傷の重症度と機能レベルについて理解できる	1	
			2 障害像	障害像について理解できる		
4	脊髄損傷のリハビリテーション	脊髄損傷のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 急性期のリハビリテーション	急性期リハの目的とその内容について理解できる	1	
			2 回復期のリハビリテーション	回復期リハの目的とその内容について理解できる		
			3 社会復帰期のリハビリテーション	社会復帰期リハの目的とその内容について理解できる		
5	切断のリハビリテーション	切断のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 疾患の概要	切断の原因や分類、合併症について理解できる	1	
			2 義肢装着	切断から義肢装着までの流れを理解できる		
			3 各切断の特徴	切断部位ごとの義肢の種類と特徴を理解できる		
6	小児のリハビリテーション	脳性麻痺のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 疾患の概要	脳性麻痺の定義や分類、症状について理解できる	1	
			2 治療の原則	早期診断・早期介入、療育の重要性について理解できる		
			3 リハビリテーションの実際	重症度別、年齢別のアプローチについて理解できる		
7	骨関節疾患のリハビリテーション	骨関節疾患のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 五十肩のリハ	疾患概要とリハアプローチの内容について理解できる	1	
			2 腰痛のリハ	疾患概要とリハアプローチの内容について理解できる		
8	骨関節疾患のリハビリテーション	骨関節疾患のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 変形性股関節症のリハ	疾患概要とリハアプローチの内容について理解できる	1	
			2 変形性膝関節症のリハ	疾患概要とリハアプローチの内容について理解できる		
9	関節リウマチのリハビリテーション	関節リウマチのリハビリテーションはどのように行われるのか	1 疾患の概要	関節リウマチの特徴的な症状について説明できる	1	
			2 病期分類・機能分類	スタインブロッカーの分類を理解できる		
			3 リハビリテーションの実際	自助具や日常生活指導を含めたリハの実際を理解できる		
10	末梢神経障害のリハビリテーション	末梢神経障害のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 疾患の概要	末梢神経障害の病態について説明できる	1	
			2 リハビリテーションの実際	末梢神経障害に対するリハアプローチについて理解できる		
			3 各末梢神経麻痺の特徴	各末梢神経麻痺と装具についてマッチングができる		
11	パーキンソン病のリハビリテーション	パーキンソン病のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 疾患の概要	パーキンソン病の原因や症状について説明できる	1	
			2 重症度分類	ヤールの重症度分類を理解できる		
			3 リハビリテーションの実際	ステージごとのリハアプローチを理解できる		
12	呼吸器疾患のリハビリテーション	呼吸器疾患のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 換気障害	呼吸器疾患における換気障害のタイプについて説明できる	1	
			2 呼吸運動のしくみ	通常呼吸と努力性呼吸の違いについて説明できる		
			3 リハビリテーションの実際	呼吸器疾患に対するリハアプローチについて理解できる		
13	心疾患のリハビリテーション	心疾患のリハビリテーションはどのように行われるのか	1 心リハの目的	心リハの概念や構成要素について理解できる	1	
			2 評価	運動強度や運動負荷試験について理解できる		
			3 急性心筋梗塞のリハ	リハプログラムの流れについて理解できる		
14	まとめ	国家試験に向けた対策	1 四肢択一問題	選択肢の中から正答を選択できる	3	
15	まとめ	国家試験に向けた対策	1 四肢択一問題	選択肢の中から正答を選択できる	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等